編　集　後　記

生命科学が発展した現代においても，未だに解明されていない脳神経疾患や有効な治療法がない疾患が数多く存在しています．そのような疾患に罹患した患者さんが健康を取り戻し，健康寿命を延ばすためには，脳神経科学の発展や普及が不可欠です．そのためには，基礎研究だけでなく，臨床研究や症例の蓄積が重要です．論文報告は，こうした研究成果を広く共有し，進歩を促すために必要な手段です．私は30年近くcommon diseaseである脳卒中診療に従事していますが，現在でも脳卒中に関してわからないことがたくさんあります．その何故を解決するためにこれからも症例報告や臨床研究に取り組み，脳卒中医学の進歩に貢献したいと思います．

多数例を登録する臨床研究は，多くのデータや情報を収集し，統計解析を行い，結果を正確かつ明確にまとめ，科学的に根拠のある形で解釈し，新しい知見として報告するため，多くの時間と労力を必要とします．そのため，最初から多数例の臨床研究を原著論文として報告することは容易ではありません．症例報告は，多数例で行う臨床研究への回り道のように感じるかもしれませんが，臨床研究は症例の積み重ねなので，臨床研究の基盤となっています．そのため，症例報告することは，原著論文を作成するトレーニングにもなります．既存の報告や日々の臨床経験から生まれたアイデアや，基礎実験結果から導き出された仮説などを手がかりにして，1例を深く掘り下げて考察し，論文により情報を共有することが症例報告と考えています．

論文を書くにあたっては，自分自身がその症例や研究に情熱を傾けることが必要です．熱意と情熱のある日本神経学会の皆様が，症例報告や原著論文を臨床神経学に投稿することで，脳神経疾患の解明，診断法の開発や新規治療の開発につながることが期待されます．是非，皆様におかれましては臨床神経学へ投稿して脳神経内科学の進歩に貢献することをご検討下さい．

（古賀政利）

〈編　集　委　員〉

編集委員長　小野寺　理　　編集副委員長　三澤　園子

編集幹事　石浦　浩之　　漆谷　真　　杉江　和馬

編集委員　今井　富裕　　木下　真幸子　　古賀　政利　　櫻井　圭太　　柴田　護

下畑　享良　　鈴木　匡子　　辻野　彰　　坪井　義夫　　中嶋　秀人　　新野　正明

「臨 床 神 経 学」　第63巻　第5号　2023年5月1日発行

編　集　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　一般社団法人日本神経学会

発　行　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　西　山　和　利

印　刷　所　〔郵便番号602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入　中西印刷株式会社

発　行　所　〔郵便番号113-0034〕東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル

日　本　神　経　学　会

郵便振替口座　東京00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080　FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：http://www.neurology-jp.org/